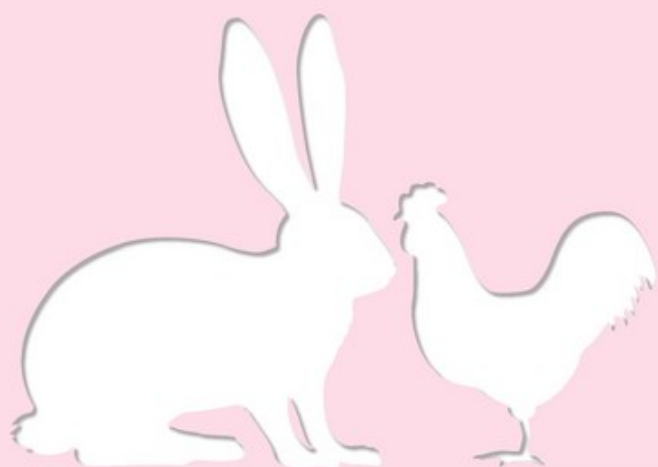




学校飼育動物における
**ニワトリとウサギの
飼育手帳**

公益社団法人 横浜市獣医師会

INDEX

はじめに	3	ニワトリの健康チェック	18
ニワトリの飼育手帳	5	飼育日誌をつけましょう	19
ニワトリの歴史(祖先)	6	ニワトリの保定(抱き方)	19
ニワトリの生物学分類	6	感染を防ぐために	20
品種と用途別分類	7	ニワトリの登録	20
ニワトリの生態	8	ニワトリが亡くなってしまったら	20
ニワトリの解剖・生理	9	健康管理シート	21
身体の特徴	9	メモ	22
羽毛	10		
羽の抜け変わり(換羽:かんう)	10	ウサギの飼育手帳	23
骨格	10	ウサギの歴史	24
胸の筋肉	11	品種	24
くちばし(嘴)、消化管	11	ウサギの生態	25
呼吸器:きのう(気嚢)	12	ウサギの解剖・生理	25
泌尿器:尿を作る器官(腎臓)	12	ウサギの飼育	26
生殖器	13	ウサギの食べもの	27
オスとメスの違い	13	牧草を育ててみる!!	28
排泄物	13	ウサギの病気	29
ニワトリの飼育小屋	14	ウサギの健康チェック	30
ニワトリの食べもの	14	ウサギの保定	32
ニワトリの病気	15	ウサギからくる感染症	35
ニワトリからくる注意が必要な感染症	15	病院での診察をうけるべきか?	36
調子が悪い時や治療中の看護方法	16	管理カード	37
薬の与え方について	16	飼育表	38
よくあるニワトリの病気と症状	17	メモ	39

はじめに

なぜ、学校で動物を飼育するのでしょうか？ それは動物を飼うことで自然や生き物への親しみをもち、それらを大切にするとともに、生命を尊重する心情や態度を養うためです。いわば「心の教育」の一環として学校で動物を飼育することが提唱されています。ある研究によれば、児童、学校ともに動物飼育への関与が高く、指導や教育的ねらいもしっかりしており、獣医師への相談にもよく行っている場合、学校での動物の世話や触れ合いは、学校適応や動物・人への思いやりを高める効果をもつ事が明らかであるとしています。

しかしながら動物を、責任をもって飼い続けるということは大変なことです。毎日の餌やりから水替え、飼育小屋の掃除、あるいは、適度な運動や温度管理、そして病気の早期発見とその手当等、動物の命を守るために自分の果たさなければならない務めを、自分の都合で勝手に変えることは出来ないからです。だからこそ生き物を飼うという試みを通して身につく事柄も多いのです。

学校という場で飼育活動を行うことは、動物たちとの触れ合いを通してこそ育つ大切な教育効果をもちます。つまり特定の動物をある期間飼育して、動物への愛着を培った場合の効果として① 愛する心の育成をはかる② 自分への肯定感・自尊心を培う③ 生命尊重・責任感を培う④ 謙虚さを知る⑤ 協力する気持ちを養う⑥ 人を思いやる心・共感を養う⑦ 科学的視点を得る⑧ ハブニングへの対応力を高める⑨ マザリング効果があるとされています。

一方、このような「動物介在教育」において大人が飼育環境を整え、適切な飼育方法を指導する事は必要不可欠ですが、ほとんどの学校の先生は本来の授業の時間をこなすのに精一杯で、動物の問題に十分な時間を費やし、子どもたちに飼育指導をする時間的余裕がないと思います。この学校動物飼育のしおりは、忙しい先生たちが動物のことを短時間で理解できるように作成したものです。児童の皆さんに指導するときの参考にしてください。

平成30年4月

公益社団法人 横浜市獣医師会
会長 井上亮一

【参考文献】

「学校での動物飼育の適切さが児童の心理的発達に与える影響」

日本獣医師会雑誌/64巻(2011)3号 中島由佳、中川美穂子、無藤隆

「小学校における動物飼育活用の教育的効果とあり方と支援システムについて」

お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター紀要論文: Vol. 4 P.53 -65(2007)中川美穂子著

学校飼育
動物における
ニワトリの飼育手帳



公益社団法人
横浜市獣医師会

ニワトリの歴史(祖先)

ニワトリはとても身近な動物です。もともとはどこに住む動物なののでしょうか？セキショクヤケイ(学名:Gallus gallus)と言われるキジ目キジ科ヤケイ属に分類される鳥類を改良して作られたのがニワトリと考えられています。すなわち、ニワトリの野生種は存在しません。人間に飼育されるようになったのは5千年以上前のことで朝に時刻を伝えるように鳴くために飼われるようになったと言われています。日本に来たのは紀元前100~200年です。セキショクヤケイ(赤色野鶏)は中国南部からインド、タイなど東南アジアの熱帯地域のジャングルに生息する野生の鳥類です。ヤケイは4種が確認されています。セキショクヤケイは体が赤色であることからその名前がつきました。体重は500~600gで年間産卵数は50個ほどで、ニワトリに比べてかなり飛翔力

があります。他にもハイロヤケイ、セイロンヤケイ、アオエリヤケイがいます。セキショクヤケイは動物園で見ることができます。



ニワトリの生物学分類

ニワトリはその学名をGallus Gallus domesticus(ガルスガルスドメスティクス)といい、動物界、脊椎動物亜門、鳥綱、キジ目、キジ科、ニワトリ属に属する種です。さらに300種以

上の品種にわかれます。ペットとして飼育されるインコやオウムなどはオウム目、野鳥のスズメやメジロはスズメ目、ペンギンはペンギン目など、キジ目以外にも数十種類の目があります。

ニワトリの生物学分類

動物界



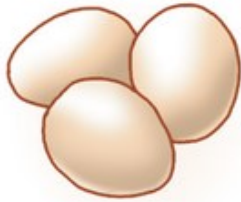
人間の分類は

動物界



品種と用途別分類

ニワトリの品種は300種以上あります。品種とは人間が飼育した生物の中で、他の生物集団より区別できる生物集団を言います。またニワトリは用途別に①卵用種、②肉用種、③卵肉兼用種、④愛玩用種に分類されます。



①卵用種は比較的小型の体格をもち産卵能力に優れた鶏です。代表的な品種としては白色レグホーン種があげられ、世界的にも最も普及している卵用鶏で、白色の卵を産卵します。



②肉用種は大型で成長速度の速い品種です。食肉専用、大量飼育用のニワトリでブロイラーが有名です。通常鶏の成長は4～5ヶ月で終わりますが、ブロイラーは40～50日で成長が終わります。

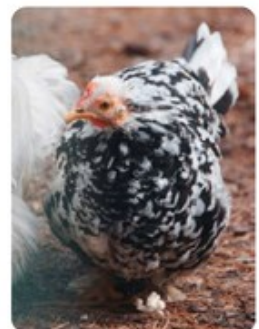


③卵肉兼用種は、産卵能力は卵用種と遜色なく、また、大型で肉質の良い品種です。日本のニワトリである名古屋種が有名で名古屋コーチンのブランドで流通しています。名古屋コーチンは肉が美味しく、産卵率も比較的高めで世界各国にも輸出されています。

④愛玩用種はペットを目的に飼養されている種で、チャボ(矮鶏)、オナガドリ(長尾鶏)などがあります。日本では17種が天然記念物として指定されています。

チャボ(矮鶏)

チャボは寿命が約5年で、インドシナ地方から入ってきた品種を高知県で改良して作られました。羽色の変異、羽毛の変異、とさかの変異などにより20以上の種類(内種)に分類され、観賞用として人気です。他の品種に比べて小型で足が短く、尾羽が大きくて直立しているなどの特徴があります。性格は優しく大人しいため学校飼育動物に適しています。



ウコッケイ(烏骨鶏)

ウコッケイは寿命が約10年で、江戸時代に中国から日本に入ってきたと言われています。卵肉兼用種としての商用、観賞用として人気があります。通常の卵用種は250～300個の卵を年間産みますが、ウコッケイはその半分ほどなので、卵は非常に高価です。ウコッケイの卵は栄養価が

とても高く、中国では薬の代用品として使用されていたこともあります。肉用としてもとても高価です。皮膚、筋肉、内臓、骨が黒く、羽は白か黒です。性格が温和なため学校飼育動物に適しています。



ニワトリの生態

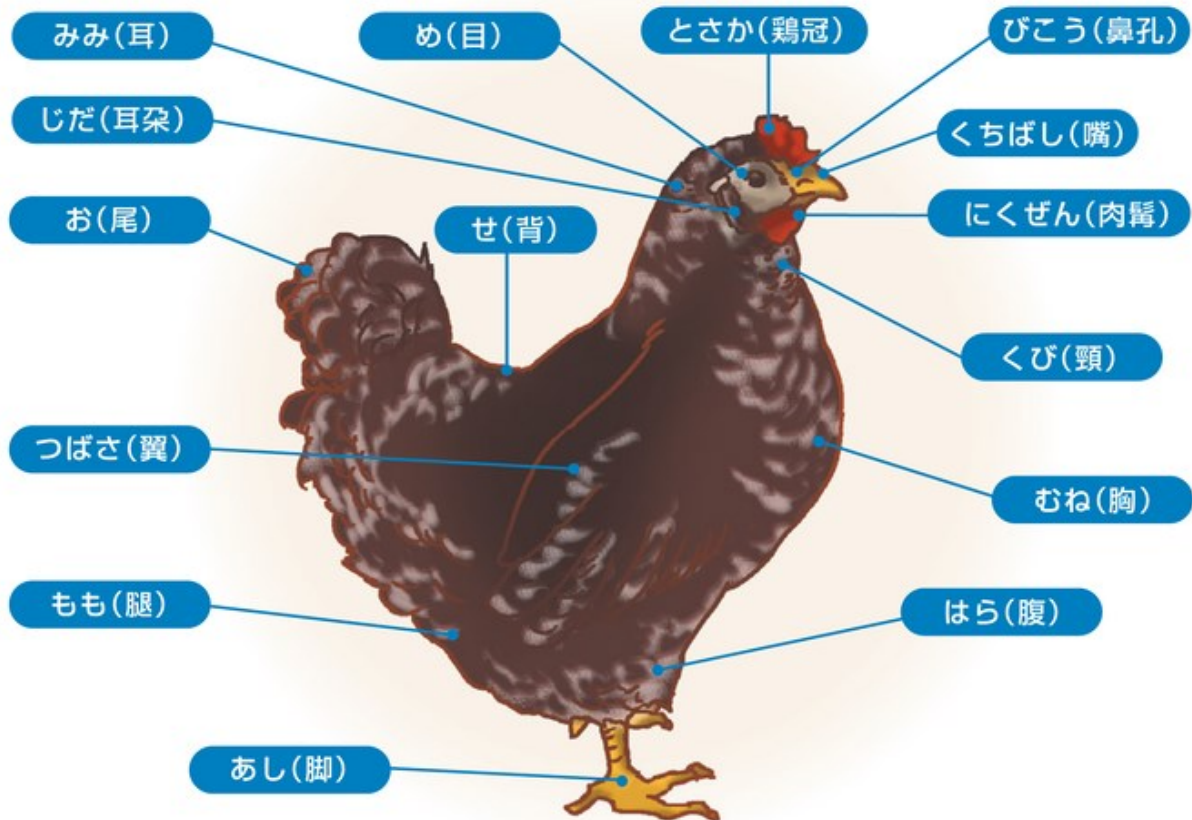
ニワトリは哺乳類と爬虫類の中間的な体の構造とされています。哺乳類と類似する体の構造も多くありますが、どちらかと言うと爬虫類に近い特徴的な体の構造をもっています。



ニワトリの解剖・生理

成鶏の生理学的数値は餌消費量100～112g／日、飲水消費量168～224g／日、雄の呼吸数12～21回／分、雌の呼吸数20～37回／分、心拍数120～200回／分、体温40.5～42.0℃、

糞便量93.0～164.3g／日、尿量61～123ml（平均85ml）／日です。この数値は品種によって異なります。



身体の特徴

空を飛ぶことに特化した体の構造をもっています。鳥類は空を飛ぶことで敵から身を守り生き残る事ができました。重力に逆らって空を飛ぶという事は非常に困難な現象です。大空を自由に飛び回るために、様々な進化を遂げています。皮膚、骨、筋肉(胸筋)、内臓(消化管)、呼吸器、心臓(循環器)などが特徴的で、地上に住む動物と比べ多くの点が異なります。ニワトリはあまり飛ぶのが得意ではないですが、体の構造

は飛ぶために特化した構造をもっています。祖先のヤケイはニワトリよりも飛ぶことができました。ただ、ヤケイも飛ぶことが上手なわけではありません。空を飛ぶ鳥たちの様々な工夫を考えると、鳥の体を理解することになります。



羽毛

鳥類の最も特徴的なものが羽毛です。重さは体重の1割とされています。羽毛の主な役割は①飛翔②外套(がいとう)です。

①羽毛は当然飛ぶのに必要です。羽毛のはえている場所や種類によって、浮く力(揚力)、

前進する力(推進力)、ブレーキ、方向舵などの役割が決まっています。

②外套とは寒い時に着るコートです。羽毛がある事で雨、風、強い日差し、ほこり、けがなどから身を守る事ができます。



羽の抜け変わり(換羽:かんう)

卵からかえった後は大人になるまでに数回の換羽を繰り返して成長していきます。その後も生涯にわたって何度も繰り返されます。最低

でも年に一回は換羽し季節、産卵、温度、栄養、鳥の種類、性別などの条件によって左右されます。

骨格

鳥の骨は中が海綿状で、空を飛ぶために軽くなっています。上の絵は鳥の骨、下の絵は人の骨です。鳥は体重の5%が骨の重さです。人は体重の20%が骨の重さです。



胸の筋肉

鳥類の胸の筋肉は非常に発達しています。鳥類の胸の筋肉量は体重の15～30%あり、私たち人間の15～30倍とされています。この発達した胸の筋肉がある事で大空を飛ぶことができます。私たち人間が大空を飛ぶ条件の一つは今の15倍以上、胸の筋肉をつけなければ不可能という事になります。



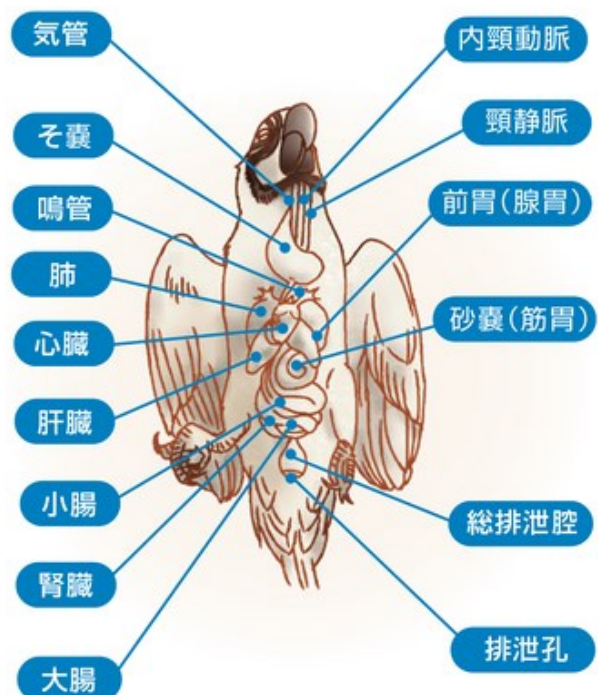
くちばし(嘴)、消化管

鳥類はくちばしを得たことにより、重たい歯や顎を捨てることができました。食べものを丸飲みすることで歯を不要にしました。これによる軽量化は空を飛ぶためには非常に都合がよいです。鳥の種類により、食べるものが異なるため、くちばしの形も様々です。写真はウコッケイのくちばしです。



飛行に関して関係のなさそうな消化管ですが、空を飛ぶためにより軽く、そして飛行に必要な膨大なエネルギーを効率よく摂取するための構造をしています。胃は胃液を分泌する

せんい(腺胃)と消化・分解をするきんい(筋胃)の2つがあります。きんいでは小石を蓄え(そのため砂肝とも呼ばれます)、物理的に食べものを砕きます。ここが歯のかわりとなります。



レントゲンはチャボのものです。レントゲンを見ると実際にきんいには石が入っていることがわかります。赤丸で囲ってある中央の砂状のものが石です。

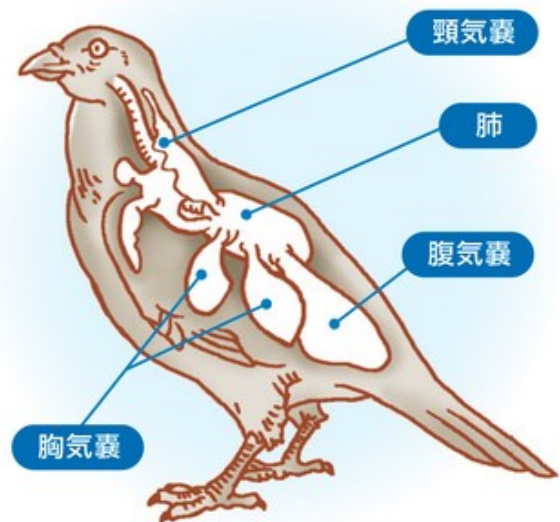


チャボのきんい(筋胃)。赤枠内に砂状の石があります

呼吸器:きのう(気嚢)

飛ぶという行為はとてもエネルギーを使う事であり、きのう(気嚢)も飛ぶことを可能している器官の一つです。鳥類の呼吸器は哺乳類と大きく異なります。哺乳類は横隔膜の運動によって肺の容積を変化させることで空気の流れを作りますが、鳥類では肺の大きさを変化させることがありません。鳥類の横隔膜は単なる薄い膜として存在し、呼吸運動の役割はもちません。鳥類には肺につながる「きのう(気嚢)」と呼ばれる非常に薄い壁の袋状の組織があります。呼吸運動の際にこのきのうを膨らませたり縮ませたりすることで空気の流れを作ります。きのうがあることで体を軽くし、

呼吸を効率的に行い、体内で発生した熱を冷却することができます。



泌尿器:尿を作る器官(腎臓)

鳥類には私たち哺乳類がある膀胱と尿道はありません。膀胱は尿をためる場所です。膀胱をなくすことで軽量化でき、飛ぶことを可能にしています。写真は腎臓で、ここで尿が作られます。

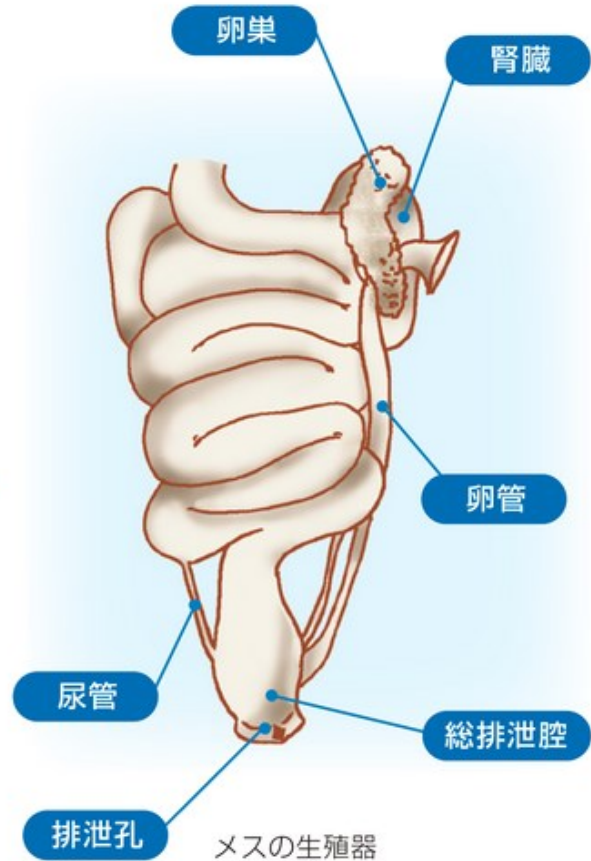


生殖器

雌の生殖器は卵巣と卵管からなります。軽量化のために右側の卵巣と卵管は退縮し、左側の卵巣と卵管のみ存在しています。卵管は哺乳類の卵管、子宮、膈を合わせた臓器です。雄の精巣は一对あり、体の中にあるので飛行の妨げになりません。

オスとメスの違い

鳥類は哺乳類の様に外部生殖器での判断が困難です。種類にもよりますが、雄は雌よりも一回りほど大きく、尾が長いです。とさかも雄の方が大きいです。また、大きな声で鳴くのも雄です。雌は卵を産みます。



排泄物

排泄物には①固形成分である便②液体尿成分である水分尿③固形尿成分である尿酸の3つに分かれます。写真の緑色が便、透明が水分尿、白色が尿酸です。便と尿を同時に排泄することが多

いですが、時々下の写真の様に尿だけを排泄する事もあります。排泄物を観察することは日々の体調管理に重要な事です。



尿だけをする事もあります

ニワトリの飼育小屋

夏の暑さと冬の寒さに気をつけるため、日向と日陰をつくります。暑さには特に注意が必要で高温多湿は苦手です。冬は冷たい風が吹き込まない構造が確保できると良いです。小屋の網目は細かくし、野鳥との接触を避けます。破れたところは修復しましょう。床はコンクリートにして、砂浴びができるように砂を撒いておきます。砂は時々交換し、掃除を十分に行い、床は常に乾燥させておきます。

止まり木はニワトリが夜間に寝る場所です。小屋の一番奥の安心できるところに作ります。壁から30cmほど離し、床から1mくらいのところに設置します。太さは半分以上握れる太さを選びます。完全に握れるような止まり木は細すぎです。



ニワトリの食べもの

雑食性なので穀類、動物性蛋白質、野菜、ミネラルなどが食べものとなります。最近では配合飼料が一般的です。配合飼料は粉碎した穀類、魚粉、乾燥した植物、カルシウムやリンなどの微量成分を配合したものです。食べものと水は

1日2-3回に分けて与えます。夏場は食べものにカビが生えることもあるので、冷暗所に保存します。餌入れと水入れは胸の高さに配置します。



注意!

与えても大きな問題がない野菜

カブ(葉)、カボチャ、ケール、タンポポの葉、ニンジン、小松菜、チンゲン菜、パセリ

与えてはいけない野菜・植物(中毒を起こす成分を含んでいるもの)

アサガオ、アジサイ、アボカド、サクラ、スイセン、ツツジ、ジャガイモの芽、ヒヤシンス、ユリ、ネギ、ニラ、ニンニク

ニワトリの病気

鳥は調子が悪くても元気そうにします。食欲がなくても食べているふりをします。調子の悪い様子として、①全身の羽毛を膨らませる(膨羽)②目を閉じて、あまり動かず体を丸くする③餌を

食べない④くしゃみ、咳をしたり、鼻水で鼻の周りが汚れる⑤体重が減るなどがあります。また、胸の筋肉(胸筋)の状態により、健康状態がわかります。



目を閉じて体を丸くしている様子



鼻水で鼻の周りが汚れている

こんな様子があったら注意

- ① 全身の羽毛を膨らませる
- ② 目を閉じて動かず体を丸めている
- ③ 餌を食べない
- ④ くしゃみ、咳、鼻の周りが汚れる
- ⑤ 体重が減る

ニワトリからくる注意が必要な感染症

1 クラミジア感染症

クラミドフィラシッタシといわれる病原体による人獣共通感染症です。あらゆる年齢の鳥類全般に感染し、世界中で発生がみられます。人にうつる事があり、人ではオウム病と言われ、急激な高熱と咳が初期症状です。感染様式は、病鳥の排泄物からの病原体の吸入が主体です。

2 ニューカッスル病

ニューカッスルウイルスによる感染症です。家畜伝染病予防法では法定伝染病で届出の義務があります。ニワトリの症状は胃腸炎による下痢、肺炎による開口呼吸、脳炎による脚麻痺や頸部捻転で、感染力が強く死亡率も高いです。人に対しては、汚染された手で目をこすった時に角膜

炎を起こす事がありますが、重症化することは稀です。

3 鳥インフルエンザウイルス

A型インフルエンザウイルスによる感染症です。ニワトリは感染した水鳥や水鳥の生活水とふれることで、この病気にかかりますが、必要以上にこの病気にかかる事を心配する必要はありません。人は感染した鳥の羽や粉末状になった便を吸入するなど、大量のウイルスが体内に入った場合に感染することがあります。人は感染すると重症化する事もありますが、人が鳥インフルエンザにかかる可能性は極めて低いと考えられています。

調子が悪い時や治療中の看護方法

様子がおかしい時は獣医さんに相談しましょう。すぐに病院へ行けない時でも、そのままにしておかず、相談しましょう。基本的な看護の方法は保温(30℃)、安静、隔離です。調子が悪い時は運動制限をするために狭い飼育ケース(プラ

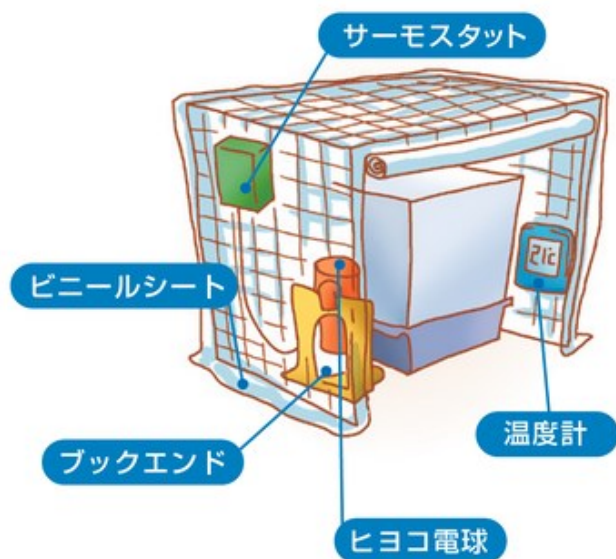
スチックケースなど)で安静にします。写真のようなケースであれば保温もしやすいです。飼育ケースの下にヒーターを敷いて、飼育ケースとヒーターを囲いの中にいれて保温します。



飼育ケースの下にヒーターを敷いて保温をしている様子

さらに設備を整えることができるのであれば絵のような環境を作ります。サーモスタッドは温度を一定に保つ器具です。温度計を設置してしっかり保温できているかを確認します。

ヒーター(ヒヨコ電球)とケージをビニールなどで囲う事で温度が安定します。ヒーター(ヒヨコ電球)はかなり高温になります。火事にならないように気を付けましょう。



【注意】ヒヨコ電球(ヒーター)はかなり高温になります。火事には十分に注意

薬の与え方について

投薬方法は色々ありますが、薬を飲み水に溶かして与える方法が良く行われます。錠剤をニワトリに飲ませるのは難しいですが、飲み水に溶かす方法なら簡単に投薬ができます。



飲み水に溶かしてお薬を飲ませている様子

よくあるニワトリの病気と症状

卵詰まり、外傷(けが)、外部寄生虫、咳、くしゃみ、食欲低下などは良く見られる病気や症状です。



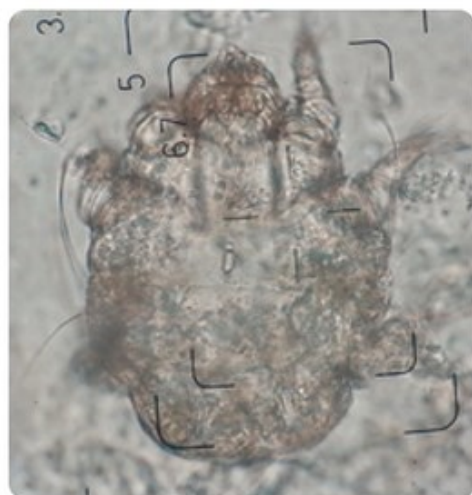
卵詰まりのレントゲン写真

卵詰まりは正常な卵管通過時間を過ぎて停滞していることを言います。原因としては寒冷や環境の変化などのさまざまなストレス、カルシウ

ム不足、過産卵による低カルシウム血症および卵殻形成不全などさまざまな原因があります。

皮膚に寄生虫が寄生してしまうことで起こる皮膚炎もよく見られます。皮膚に寄生する寄生虫は多くありますが、ヒゼンダニによるカイセン(疥癬)と言われる皮膚疾患がよく見られます。このダニは皮膚にトンネルをつくりその中に寄生し、皮膚炎を起こします。ニワトリでは脚に寄生

することが多いです。写真はセキセイインコの顎にできたカイセンとその原因であるヒゼンダニです。病変部を削って顕微鏡で観察することでダニを確認できます。ヒゼンダニの大きさは300~400 μ mと非常に小さく肉眼で見えることは困難です。



ヒゼンダニ(カイセンの原因)



カイセン(疥癬)

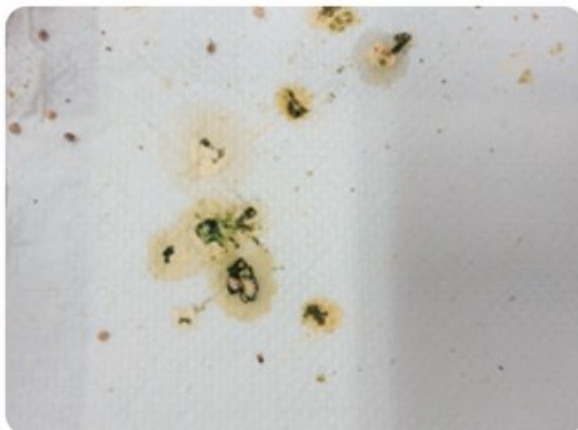


鼻水で鼻の周りが汚れていたら病気のサインです

食欲の低下も様々な病気で見られます。食欲がなくなると排泄物にも変化がでてきます。食欲がなくてあまり餌が食べられていない時

呼吸器の病気: 鳥類の呼吸器は哺乳類と構造が異なり、その複雑な構造から細菌やカビの温床となりやすく、致死的な疾病を起こす事もあります。初期症状としてはくしゃみをしたり、鼻水により鼻の周りが汚れるなどが見られます。

は、便の色が緑で量が少ない便となります。黒い便の時は口腔内や胃で出血していることがあります。



餌をあまり食べていないと量の少ない緑色の便になります

ニワトリの健康チェック

ニワトリの健康管理において最も重要な事は体重測定です。鳥は調子が悪くても元気そうにします。食欲がなくても食べているふりをします。

体重のチェックはニワトリの健康管理に最も重要です!!

調子を崩すと体重が減少し、調子が上がると戻ります。元気な時でも最低週に1回、病気の場合は毎朝体重を量り記録しましょう。



体重測定方法はキッチンスケールとニワトリが入る入れ物(虫かごなど)を用意します。それらを使い写真の様に体重を量ります。デジタルのキッチンスケールで風袋ボタンを使用し、プラス

チックケースをのせた状態で0gに合わせます。その後、ニワトリをプラスチックケースに入れて体重を量ります。

病気になると写真の様に胸筋が少なくなり胸がとがってしまいます。体調が良くなると胸筋は正常に戻ります。



飼育日誌をつけましょう

日々の健康チェックをし、記録、保存します。体重は朝、食べものを与える前に量ります。食欲は全部食べたら5、半分なら3というように記入します。排便、排尿は有無を記入、異常があれば色も記入します。尿の色は尿酸の色を記入し

ます。通常尿酸は白色で、体調が悪い時はクリーム色や黄色になります。

その他は気づいたこと(元気がない、出血、脱羽が多いなど)を記入します。異常がある場合は毎日記入します。

健康管理シート

日にち	体重	食欲	排便	排尿	その他	掃除
2018.7.1	805g	1 < 2 < 3 < 4 < 5	有 茶色	有 白	なし	床 食器
2018.7.8	800g	1 < 2 < 3 < 4 < 5	有 茶色	有 白	鳴かない	床 食器
2018.7.15	780g	1 < 2 < 3 < 4 < 5	有 茶と緑	有 黄色	便量少ない	床 食器
2018.7.16	770g	1 < 2 < 3 < 4 < 5	有 茶	有 緑色	なし	床 食器
		1 < 2 < 3 < 4 < 5				床 食器

ニワトリの保定(抱き方)

両手で翼ごと優しく抱えます。翼だけを持つと、骨が折れたり、羽が大量に抜けたりするので要注意です。慣れないうちは膝の上で抱えましょう。お腹を強く抑え呼吸ができなくなるのでやってはいけません。



感染を防ぐために

動物に触れる時は清潔な手で触れます。触った後は手をよく洗います。小屋は毎日掃除し、排泄物、羽毛などが飛び散らないようにします。排泄

物が乾燥すると飛び散るので、少し水をまいて掃除をします。

ニワトリの登録

神奈川県ではニワトリ等の飼育状況調査をしています。ニワトリ、アヒル、ウズラ、キジ鳥、ホロホロ鳥を飼育している方は、飼っている種類と羽数を

神奈川県県央家畜保健衛生所(046-238-9111)へ連絡をしましょう。

ニワトリが亡くなってしまったら

学校の健康教育課保健係に連絡し、亡くなった鳥の種類、数、その時の状況を伝えます。
健康教育課保健係から横浜市獣医師会事務局

(045-751-5032)へ連絡をします。地区獣医師会会長の獣医師から学校への連絡の後、調査・指導を行います。



健康管理シート

名前		動物の種類	生年月日	年	月	日	性別	食事:午前	g・午後	g
日にち	体重	食欲	便の有無・色	尿の有無・尿酸色	その他		天気	気温・湿度	掃除	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5						℃ %	床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	
		1 < 2 < 3 < 4 < 5							床・食器	



学校飼育
動物における
ウサギの飼育手帳



公益社団法人
横浜市獣医師会

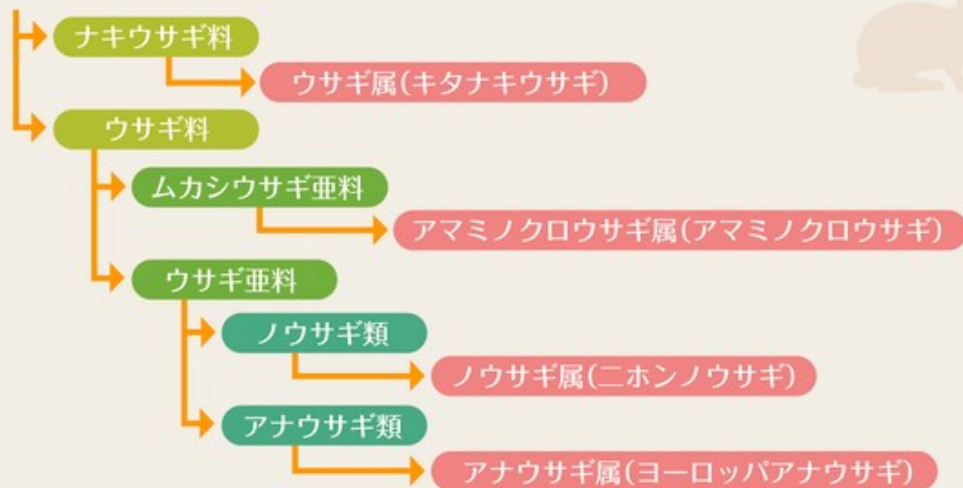
ウサギの歴史

私たちがペットとして飼っているカイウサギはウサギ亜科アナウサギ類アナウサギ属のヨーロッパアナウサギを家畜化したもので、2000年前から食用としての飼育が始まったとされています。11世紀頃の地中海付近で、現在のような完全に家畜化されたウサギになり、15世紀頃にはヨーロッパ各地へ広まり、日本に初めて渡来したのは16世紀頃といわれています。日本では初めペットとして珍重されましたが、明治中期から軍事利用が多くなると、毛皮や食用に利用され、第二次世界大戦後は家畜として飼われる

ことが激減し、ペットや医学の実験動物として飼育されることが多くなりました。



ウサギ(重歯目)



品種

ペットとしてのウサギの品種改良が1800年代からオランダなどで進み、現在150種程が知られています。

代表的な種

ネザーランドドワーフ、ロップイヤー、ヒマラヤン、アンゴラ、レックス、ニュージーランド、ホトト、ジャパニーズホワイトなど

※ミニウサギは身体の小さい個体の俗称で、特定の血統ではありません。

ウサギの生態

ウサギは1つの巣に1匹から数匹の雄と複数の雌で構成されるコロニーを作ります。個々に縄張りをもっており、その中で順位付けがされています。縄張り意識が強く、雄は雌よりも広い縄張りを要求します。そのため、複数のウサギを1つの部屋で飼うとケンカすることがあります。

ウサギは神経質でストレスに弱く、大きな音などでストレスが長時間続くと食欲の低下や病気を発症することがあります。ウサギは明け方と夕方に最も活動的になり、昼間は休んでいることが多いです。

ウサギの解剖・生理

ウサギには特殊な習性や身体の特徴があります。それはウサギの生態から発達してきたもので、飼育するうえで理解しておく必要があります。

身体の特徴

品種にもよりますが、よく飼われている品種の標準はこのようなになっています。

体 重	2-5kg
体 温	38.5-40.0℃
心拍数	130-325回/分
呼吸数	30-60回/分
寿 命	5-6歳(最高で15歳)

小さな品種では1kg以下のものから、9kgを超える大型の品種もあります。寿命は長生きのウサギも増えて、ペットとして飼われているウサギでは大体8歳くらいで、10歳を超えるウサギも多くなっています。

オス・メスの違い

オスは肛門と尿道の間が離れており尿道が丸くみえます。左右には睪丸があります。メスは肛門と尿道が近く、尿道がやや縦長に見えます。

歯

ウサギの歯は生涯伸び続けます。1年で10cmから12cm伸びます。永久歯は全部で28本あります。乳歯は生後30日齢までに生え変わってしまうので、見かけることはほとんどありません。ウサギは顎の骨を亜脱臼させて歯をすり合わせ、1分間で120回以上動かすことができます。

消化器

ウサギの消化器は長く体の長さの約10倍もあります。そのうち2/3が小腸で栄養を吸収します。ウサギの胃には常に食べものが蓄えられていて、空になることはありません。噴門(胃の入り口)と幽門(胃の出口)がよく発達して、さらに深い袋状になっているため嘔吐することができません。大きな繊維質は結腸で分離されて硬便として排泄され、小さな粒子は盲腸に送られています。ウサギの盲腸は大きく、胃の10倍あります。盲腸では微生物の力で植物の成分を分解・発酵し、タンパク質やビタミンなどを作ります。

便

便には2種類あり、盲腸を通過せずに排出される硬便と、盲腸の発酵過程を経てた盲腸便があります。1日に出る便の30～80%が盲腸便です。盲腸便はタンパク質、ビタミンB群、ビタミンKなどの栄養が豊富にあり、ウサギは盲腸便を食べることで栄養を摂取します。(食糞行動)



【盲腸便】ウサギはこの便を食べて栄養をとります。

尿

ウサギの正常な尿はアルカリ性(平均pH8.2)で色はやや黄色から茶褐色を呈しています。尿が白っぽく濁って見えるのは、炭酸カルシウムなどの結晶を含んでいるためです。尿の色は食べものにも影響をうけ、キャベツやブロッコリーのような野菜やタンポポを食べると赤い尿をすることがあります。

筋・骨格

骨は進化の過程で軽量化され、弱くなっています。猫では体重の12-13%が骨であるのに対して、ウサギでは7-8%しかありません。ウサギは

筋肉質で助走なしで高さ50-60cmくらいは飛び越せる脚力を持ちます。足が速く、大型のウサギでは時速80kmに達します。

皮膚

ウサギの耳介は大きく長く集音能力を高めています。また、汗をかくことがほとんどできないため、耳に張り巡らした血管から熱を逃がすことで、体温の調整にも役立っています。足底には犬・猫のような肉球がなく毛で覆われています。これは走るときに固い地面をとらえやすくし、クッションの役目もします。

ウサギの飼育

ウサギを健康的に飼うには、ウサギにとって快適な環境を維持することが大切です。毎日の世話はウサギの健康のためだけでなく、人間の感染予防にも重要になります。小学校では屋外でウサギを飼育する場合があります。屋外での

飼育は広いスペースをとることができ、ウサギを多くの児童にみてもらうことができますが、掃除や温度管理などに工夫が必要となります。ウサギは体温調整がうまくできないため、夏や冬には気温対策が必要になります。

ウサギの生活環境の基準

温度:18-28℃

湿度:40-60%

※気温が28度以上になると熱中症になる危険性がでています。

外壁

夏場は熱中症予防のため風通しに注意し、よしずなどを設置して日陰を作りましょう。冬場はビニールシートなどで北風を避けられるような壁を設置できるとよいでしょう。飼育舎の近くに大きな落葉樹があると理想的です。金網の大きさはスズメなど入ってこられない大きさのものにしましょう。

床

コンクリートの床で飼育するようにしましょう。土の床は糞尿が取り除きにくく、カビの温床になり不衛生になります。また、舞い上がった埃がウサギや児童の健康に悪影響を及ぼすことがあります。床には水洗いできるよう、排水溝があると理想的です。スノコや土を入れたトロ船などで足休めを設置してください。ウサギは穴を掘って隠れる習性があるため、木やダンボールなどで隠れ家(小屋)を用意しておくよいでしょう。

食器・水入れ

ウサギは容器の上に乗って食べる性質があります。また、口にくわえて放り投げたりすることもあるので、容器は壁掛け式にするか陶製の重みのあるものを使用してください。

トイレ

ウサギはトイレを一定の場所に決めておけば覚えることができます。ウサギ用のトイレも売っていますが、他にも猫のトイレや浅いトレイなども使うことができます。トイレチップがなければ、キッチンペーパーや新聞広告を細かく裂いたもので代用するのもよいでしょう。トイレの位置は部屋の中で採食をする場所と反対の隅に置くとよいでしょう。

ウサギの食べもの

ウサギは完全草食動物で消化管が長く、常に腸が動いています。また、歯を前後左右に動かして食べものを細かく噛み砕き、その時に歯が摩耗して適度な長さを維持します。そのためにも高繊維質

で低カロリーである牧草(乾草)が重要になります。基本的に主食である牧草(乾草)を中心に、少量のペレットや野菜を与えましょう。

牧草

牧草にはイネ科のチモシーやイタリアンライグラス、マメ科のアルファルファなどがあります。イネ科の牧草はマメ科と比較して低カルシウム・高繊維であるため長期的にウサギを飼育するのに適しています。イネ科の牧草には1番刈り、2番刈り、3番刈りとありますが、主食としては1番刈りが適しています。

ペレット

ウサギにとって必要な栄養素やビタミン・ミネラルなどを考えて作られた食べものです。嗜好性がよく保存性に優れています。身体の高さや年齢、品種などによって適切なペレットは違ってきます。ペレットは繊維質が18%以上含まれているものを選んでください。1日に与える量は、大人のウサギで体重の1.5%が目安になります。

野菜・野草

ウサギは新鮮な野菜や野草を好みますが、ウサギにとって必ず必要な食べ物ではありません。野菜は水分が多く、繊維質が少ないため、与えすぎると軟便や下痢を引き起こすことがあります。

あくまでも副食として少量あたえてください。目安としては3kgのウサギで1/2カップくらいです。

与えても大きな問題がない野菜

小松菜、青梗菜、ケール、三つ葉、大根の葉、カブの葉、など

与えてはいけない野菜(中毒を起こす成分を含んでいるもの)

里芋、ネギ、たまねぎ、ニンニク、ニラ、ジャガイモの皮と芽など

あまり与えてほしくない野菜

レタス、キャベツ、白菜、ニンジン、ピーマン、ブロッコリーなど

※これらの野菜は食べすぎると軟便や下痢などを起こしたりするので、与えるときは注意してください。

注意!

他に麺類、パン・クッキー類、サツマイモなどのイモ類、豆類、ハウレンソウは体調を崩しますので、与えないようにしてください。

与えても大きな問題のない草

タンポポ、ハコベ、オオバコ、ナズナ、クズ(葛)、シロツメクサ、ネズミムギ(イタリアンライグラス)、カラスムギ(エンバク)など

与えてはいけない草(中毒を起こす成分を含んでいるもの)

アサガオ、アジサイ、スズラン、キョウチクトウ、シダ、スイセン、ツツジ、ヒヤシンス、ペコニア、ホオズキ、ポインセチア、ワラビなど

ウサギに野草を与えるときは食べても大丈夫な野草か調べて、排気ガスなどで汚染されていないところから採取してください。与えるときは洗ってから汚れを落とし、水気を切ってから与えてください。

観葉植物の多くは中毒物質を含んでいますので、与えないようにしてください。

牧草を育ててみる!!

ウサギを飼育するうえで牧草は重要になりますが、多くの小学校では費用などの問題もあり、使っていないのが現状です。そこで、学校の敷地の一部をお借りして牧草の栽培を提案したいと思います。ウサギが年間に必要な量を収穫でき

なくても食生活の改善が期待され、また、「ウサギのごはん畑」として児童が牧草の栽培に関わることで、ウサギへの愛着や生態に対する理解も深まると考えます。

年間平均気温から横浜市内ではイタリアンライグラスの栽培が適しています。チモシーもイタリアンライグラスより、やや暑さには弱い栽培することができます(主食の牧草としてはチモシーの方が適しています)。

牧草の種は園芸・農業用のインターネットショップや店舗などで購入できます。イタリアンライグラスの種は1kgで500円から1000円位、チモシーの種は1kgで1500円から3000円位で購入できます。

栽培方法

種をまく時期は4~5月が適しています。土は家庭菜園用の土や園芸用の土で問題ありません。10cmくらい間隔をあけて、1㎡あたり10gの種を撒きます。土が乾燥しない程度に水やりをして、1か月半くらいで収穫できるようになります。収穫は40cmくらいに成長したら根元を残して刈り取ります。根元を残しておくともた成長して、2~3回収穫することができます。



イタリアンライグラス栽培の様子

保存

牧草は基本的に日光でよく乾燥させたものを与えてください。収穫した牧草はよく乾燥させてから布団圧縮袋など利用して保存してください。空気を抜くことでダニなどが付きにくくなります。乾燥剤があれば、一緒に入れてください。

ウサギの病気

ウサギは少しくらい体調が悪くても元気なフリをします。そのため病気がかなり進行しないと、人間からみて具合が悪いと気づきません。毎日の

世話の中でよくある病気の兆候を早くみつけることが大事になります。

よくあるウサギの病気と兆候

不正咬合

外傷などで歯根を痛める、牧草を食べずに軟らかい食事中心の生活などで起こります。牧草をこぼすようになる、食欲が減る、よだれや歯ぎしりをするなどの症状があります。

パスツレラ症

パスツレラ・マルトシダによる感染症です。多くのウサギの鼻腔などに常在しており、健康であれば症状がでません。白く濁った涙やクシャミや鼻水などの軽い症状から、歯根や骨に影響して顔に膿瘍を作ったり、時に重症化すると神経症状も起こしたりします。

足底皮膚炎(ソアホック)

ウサギは肉球がなく毛で覆われているため、尿などで汚れたり、体重がふえすぎたりして、足の裏に負担がかかるとなります。症状としては毛が抜ける、歩き方がおかしくなる、足を気にするなどです。

尿石症

血尿がでたり、尿の回数が増えたり、尿が出なくなったりすることがあります。尿以外にも水を飲む量が増えるなどもあります。痛みが伴う場合は食欲が減ったり、便が小さくなったりします。

ウサギ蟻虫(ぎょうちゅう)

便に1cmくらいの白い糸のようなものがつきます。ウサギに大きな症状があまりでませんが、体重が減ってくる場合があります。

ノミ・ダニ

ウサギキュウセンダニ、ツメダニ、ネコノミなどがつきます。毛がパサパサになったり、毛が抜けたり、フケや痒みがでたりします。

ウサギの健康チェック

ウサギは表情や動き、食欲や便の状態などで体調を教えてください。毎日、注意深く観察することで違いに気づくことができるようになります。

掃除するまえにチェックすること

- 動きに異常がないか？
(動かない、歩き方がいつもと違うなど)
- 変な臭いはしないか？
(ケージやウサギからいつもと違う臭いがするなど)
- 傷や脱毛がないか？
(抜け毛が多い、血がついているなど)
- 食べ残しはどうか？
(食べる量が少ない、特定のものを残すなど)

掃除のときにチェックすること

- 便の状態はどうか？
(数や大きさなども)
- 尿の状態はどうか？
(色や臭い、量など)
- 触ってみて異常はないか？
(腫れている、イボがある、熱がある、傷があるなど)
- 与えた食べものは？
(与えた時間、量など)



【良い便の例】
丸くて大きさが揃っている



【悪い便の例①】
大きさが不揃い・色が違う
黒っぽい



【悪い便の例②】
軟らかい・つながっている
丸くない・涙形・くさい

ウサギの
うんちを
チェックして
みよう！

体重測定しましょう

毛で覆われている動物は痩せたり、太ったりといった変化に気づきにくく、与える食べものの量の調整にも役に立ちます。また、病気の種類によっては食事をとっていても体重が減ることがあります。毎日できたら理想的ですが、1週間に1回は体重測定してください。

【体重の測り方】

ウサギを写真のようなボックスにいれてボックスご計測。あとからボックスの重さをひくことで、体重を測定できます。



飼育日誌をつけましょう

毎日お世話する人が同じとは限りません。前日の様子や、今日の食べ残しの量を把握するためにも日誌は重要になります。



飼育日誌に書いておくこと

ウサギの名前・生年月日・飼育開始日

掃除チェック／床・食器はきれいか？

食べ残したものはあるか？

元気はあるか？

便の状態(数や大きさ)・便の状態(色・におい)

に異常はないか？

体重を測定した日は体重も記録しておく

ウサギの保定

体重測定や投薬のときに困るのが、ウサギを保定できないことです。ウサギは本来、人間に抱かれることを好まない動物で、小さい時から人と接触する機会がなかった場合、人に馴れることが難しくなります。学校のウサギの多くは馴れておらず、いきなり抱くのは事故の原因になります。

まずは、人間に対する恐怖心をとることが必要です。ウサギは好奇心が強いため、小屋の中で放していると自ら寄ってくることがあります。寄ってくるようになれば、撫でたり、手から食べものを与えたりして少しずつ信頼関係を作っていきます。



足下が滑るとウサギは緊張するため、バスタオルなどを敷き、その上にのせるとよい。

タオルを後ろから包むようにウサギにかける。



タオルと背中全体が密着しているようにする。
※暴れたら無理せずやめること！





指で首の下から反対側の
タオルの端をつかむ。

投薬するときは
片手で軽く眼を覆い、反対の
手で注射器などを使って与える。
犬歯がないので、
歯の隙間から注射器などを
舌の上に入れば、少しずつ
飲ませることができる。



興奮している場合は
頭側を軽く隠し、背中側を
包むと成功しやすくなる。



1 ウサギの抱き方

首回りなどの皮膚のゆるみのある場所をつかんで持ち上げるようにして、同時に後肢を支える。



2 ウサギの抱き方

眼を軽く覆い、反対の手で腹部全体を支えるように持ち上げる。ウサギを持ち歩くときは脊椎(背骨)の損傷を防ぐために、体全体を支える。

3 ウサギの抱き方

右利きの場合、右手で首筋の皮膚をつかみ、自分の体にウサギを押しつけ、左手で後肢を一緒に支え、同時に左腕でウサギの体を下から支える。



なるべくすわりましょう!!

ウサギからくる感染症

人間の病気とウサギの病気の中には、人間とウサギに共通の病気があります。多くの病気はウサギを健康的に飼うことや、私たちが気をつけることで予防できます。

主なウサギとヒトの共通感染症

パストレラ感染症

保菌しているウサギに噛まれたり、引っ掻かれたりすることで感染します。

皮膚糸状菌症

病気の発症しているウサギに接触することで感染します。

サルモネラ感染症

保菌したウサギからまれに感染します。糞を介して経口感染します。

ウサギツメダニ

ツメダニに接触することで皮膚炎を起こすことがあります。

感染を防ぐための3つのポイント

- 1 ウサギに病気の原因を作らない。
- 2 ウサギの病原体をもらわないようにする
- 3 身体についた病原体の数を減らす、なくす。

世話をする時に様子がおかしいウサギがいたら、児童は触らないようにして、先生に報告、病院で診てもらうようにしてください。

注意すること

- ▶ 床やトイレをこまめに掃除する。
- ▶ 容器・水入れは毎回きれいに洗って、時々消毒する。
- ▶ 容器・水入れは雨にあたらないようにする。
- ▶ 食べものの保存方法に気をつける。
- ▶ 糞などは直接触らないようにする。
- ▶ 換気に気をつけて、手袋やマスクがあればつける。
- ▶ 体調が悪い時はウサギの世話をしないようにする。

※ウサギを触った後は必ず手洗い・うがいをしてください。

病院での診察をうけるべきか？

ウサギの体調に変化があった場合、状態によっては診察をすぐに受ける必要があります。様子を見ていうちに症状が悪化することもありますので、受診するべきか分からない場合は獣医師に相談してください。

直ちに診察が心要な場合

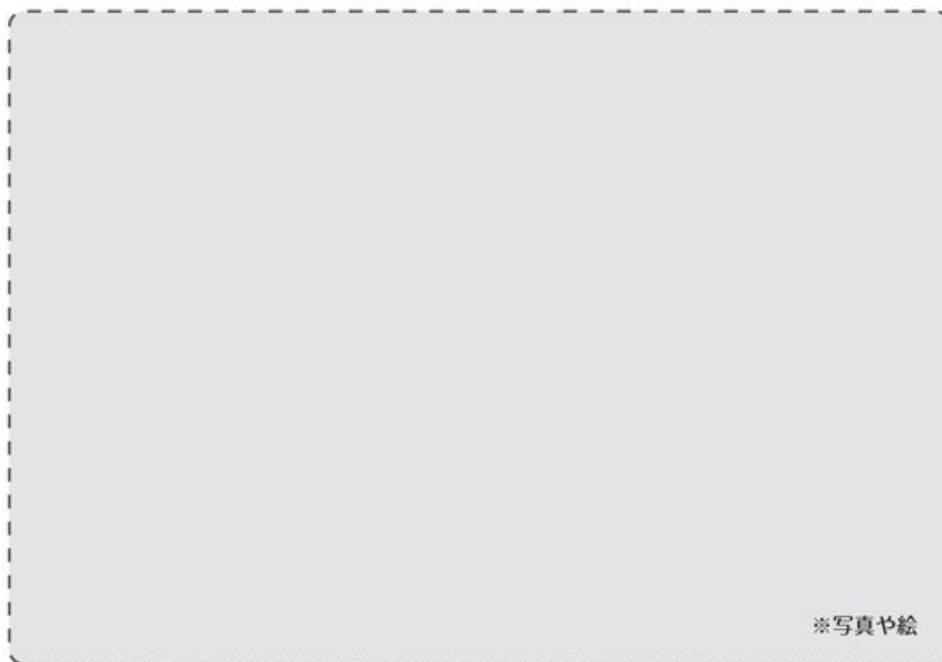
食欲がない(いつもの80%以下)
便または尿が出ていない(いつもの50%以下)
血尿が出た(赤い尿が出た)
軟便・下痢をする
動かない、動きが鈍い、おかしい
食欲がやや減っている、便も少なくなっている
歯ぎしりをする、鳴く
口を開けて呼吸する

数日で改善がない場合に診察が心要な場合

食欲はあるが、
便が小さくなった・減った。
変な形の便がでる。便が数珠状につながる。
涙形の便がでる。
便の大きさが大小不同になる。
牧草など特定のものを残すようになった。
クシャミ・鼻水がでる。
食糞をしない。
脱毛・フケがみられる。

年1回は獣医師による健康チェックをしてもらって下さい。

管理カード



※写真や絵

名 前： ちゃん

生 年 月 日： 年 月 日

飼育開始日： 年 月 日

性 別： オス ・ メス

毛 の 色：

性 格：

飼育表

名前： ちゃん

日付	担当	掃除	元気	食べ残し	トイレの異常	入れたごはん	気付いた事 (体重など)
/ (月)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	
/ (火)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	
/ (水)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	
/ (木)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	
/ (金)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	
/ (土)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	
/ (日)		床・食器	あり・なし	なし あり()	あり・なし	牧草・ペレット 野菜()	

A large rectangular area with horizontal dashed lines for writing. The area is decorated with faint, stylized rose patterns in the corners: top right, middle right, and bottom left.

この本が学校での動物飼育にお役に立てれば幸いです。

(公社)横浜市獣医師会 会員一同



学校飼育動物における

ニワトリとウサギの飼育手帳

2018年4月1日発行

発 行 公益社団法人 横浜市獣医師会
〒235-0007 横浜市磯子区西町14-3

会 長 井上 亮一

編 集 (公社)横浜市獣医師会
学校飼育動物冊子編集委員会
三浦 誠之 西谷 英 松倉 源太郎 北川 泰彦 武部 正美
太田 雄一郎 川口 茂 藤井 敏 岡田 響 吉池 正喜

編集協力 株式会社エイム企画

公益社団法人 横浜市獣医師会

〒235-0007 神奈川県横浜市磯子区西町14-3 神奈川県畜産センター内

TEL 045-751-5032 FAX 045-752-1014

www.yvma.or.jp/